三友第C－　　　－　　　号
受領日　　年　　月　　日

コンクリート圧縮強度試験依頼書

三友エンジニヤリング㈱構造材料試験所
所　長　殿

成績書宛名

依頼者	会　社						
	住　所						
	連絡先	TEL		FAX/mail		担当者	
施工業者							
工事名称							
現場住所							
建築工事施工計画報告書又は建築確認の番号		建築工事施工計画報告書番号:　　年度　　第　　号 建築確認年月日，番号:　　年　　月　　日　第　　号					
レディーミクストコンクリート製造工場		会社名：					
供試体寸法		□1. Φ50　□2. Φ100　□3. Φ125　□4. Φ150　□5. その他（　　）					
呼び方				試験品目の識別			
使用材料	混和剤			混和材			
	流動化剤			その他			
試験の目的		□1. 設計基準強度の確認　□2. 調合強度の確認　□3. 構造体コンクリートの強度確認 □4. 強度の確認　□5. 型枠又は支保工早期解体用　□6. その他（　　）					
供試体の採取地点		□1. 荷卸し地点　□2. ポンプ筒先　□3. その他（　　）					
供試体採取責任者名		所属：		氏名：		検印	□有　□無
打込み箇所		□1. ＿＿＿棟＿＿＿工区　□2. 杭№.（　　）　□3. 基礎　□4. 地中梁 □5.（　）階立上り（　）階床　□6. その他（　　）					
強度管理方法		□1. 通常の方法　□2. マスコンクリート　□3. 高強度コンクリート　□4. その他（　　）					
供試体	採取方法	□1. JASS5 T-603　□2. JIS A 1115　□3. その他（　　）					
	養生方法	□1. 標準　□2. 屋外水中　□3. 屋外封緘　□4. その他（　　）					
	採取年月日	年　　月　　日	強度管理材齢	日	試験材齢	日	
試験年月日		年　　月　　日					

供試体番号	車番	スランプ又はスランプフロー(cm)	空気量(%)	設計基準強度	Fc=　N/㎜^{2}	試験結果の判定	
				品質基準強度	Fq=　N/㎜^{2}	□F≧Fm	
				耐久設計基準強度	Fd=　N/㎜^{2}	□F≧Fq+（　　）	
				構造体補正強度	S=　N/㎜^{2}	□判定なし	
				調合管理強度	Fm=　N/㎜^{2}	□（　　）	
				備考			
立会試験	□要　☑不要	写真	□要　☑不要	供試体返却	□要　☑不要	成績書	通
採取試験会社			採取者名(資格)				

供試体の受入状態	良・不良（　　）	受入確認者	
供試体番号	平面度	直角度	
	合・否	合・否	
	合・否	合・否	
	合・否	合・否	

宛名と太線の中を記入してください。
試験方法は、JIS A 1108 および JASS5 による。
当試験所は，試験活動の実施過程で入手，又は作成した顧客に関わる全ての機密情報の確保に責任を持ちます。

QR-412-1-4　改訂日2022.7.1

記入例

コンクリート圧縮強度試験依頼書

三友第C－　　－　　号
受領日　　年　　月　　日

三友エンジニヤリング㈱構造材料試験所
所　長　殿

成績書宛名 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●株式会社

依頼者	会社	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●株式会社
	住所	●●県(都)●●●市●●●●区X-XX-XXX ●●●●●ビル●●●●●●XXX-XXXX
	連絡先	TEL XXXX-XXXX-XXXXX　FAX/mail XXXX-XXXX-XXXXX/XXXXX@XX.XX　担当者 ●●●●●
施工業者		●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●株式会社
工事名称		●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
現場住所		●●県(都)●●●市●●●●区●●●●●●●●●●●●●●●●●●X-XX-XXX
建築工事施工計画報告書又は建築確認の番号		建築工事施工計画報告書番号：●●XX 年度　第 ●●●●●XXXXXXXXXXXXXXXXXX 号 建築確認年月日，番号：●●XX 年 XX 月 XX 日　第 XXXXX●●●●●XXXXXXXXXXXXX 号
レディーミクストコンクリート製造工場		会社名：●●●●●●●●●●●●●●●●●●●株式会社　●●●●●●工場
供試体寸法		☑ 1. Φ50　☑ 2. Φ100　☑ 3. Φ125　☑ 4. Φ150　☑ 5. その他（ YY×YY×YY ）
呼び方		●● XX-XX-XX-●　試験品目の識別 XXX XXX XXX （車番を入力）
使用材料	混和剤	●●●●●●●●●●●●●●　混和材 ●●●●●●●●●●●●●●
	流動化剤	●●●●●●●●●●●●●●　その他 ●●●●●●●●●●●●●●
試験の目的		☑ 1. 設計基準強度の確認 ☑ 2. 調合強度の確認 ☑ 3. 構造体コンクリートの強度確認 ☑ 4. 強度の確認 ☑ 5. 型枠又は支保工早期解体用 ☑ 6. その他（●●●●●●● ）
供試体の採取地点		☑ 1. 荷卸し地点　☑ 2. ポンプ筒先　☑ 3. その他（●●●●●●●●●●●●● ）
供試体採取責任者名		所属：●●●●●●●●●●●●●●　氏名：●●●●●●●●　検印 ☑ 有 ☑ 無
打込み箇所		☑ 1. ●●● 棟 ●●● 工区 ☑ 2. 杭№.（ ●●● ） ☑ 3. 基礎 ☑ 4. 地中梁 ☑ 5. （ XX ）階立上り（XXX）階床 ☑ 6. その他（●●●●●●●●●●●● ）
強度管理方法		☑ 1. 通常の方法 ☑ 2. マスコンクリート ☑ 3. 高強度コンクリート ☑ 4. その他（●●●● ）
供試体	採取方法	☑ 1. JASS5 T-603　☑ 2. JIS A 1115　☑ 3. その他（●●●●●●●●●●●●● ）
	養生方法	☑ 1. 標準 ☑ 2. 屋外水中 ☑ 3. 屋外封緘 ☑ 4. その他（●●●●●●●●●●●●● ）
	採取年月日	XXXX 年 XX 月 XX 日　強度管理材齢 XX 日　試験材齢 XX 日
試験年月日		XXXX 年 XX 月 XX 日

供試体番号	車番	スランプ又はスランプフロー(cm)	空気量(%)	設計基準強度	Fc= XX N/mm^2	試験結果の判定
				品質基準強度	Fq= XX N/mm^2	☑ F≧Fm
				耐久設計基準強度	Fd= XX N/mm^2	☑ F≧Fq+（ X ）
X-X	XXX	XX.X	X.X	構造体補正強度	S= X N/mm^2	☑ 判定なし
X-X	XXX	XX.X	X.X	調合管理強度	Fm= XX N/mm^2	☑ （ X≧XX ）
X-X	XXX	XX.X	X.X	備考 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●		

立会試験	☑ 要 ☑ 不要	写真	☑ 要 ☑ 不要	供試体返却	☑ 要 ☑ 不要	成績書	XX 通
採取試験会社	株式会社●●●●●	採取者名(資格)	●●●●(コンクリート現場試験技能者の資格を入力)				

供試体の受入状態	良・不良（　　）	受入確認者	
供試体番号	平面度	直角度	
	合・否	合・否	
	合・否	合・否	
	合・否	合・否	

宛名と太線の中を記入してください。

試験方法は、JIS A 1108 および JASS5 による。

当試験所は，試験活動の実施過程で入手，又は作成した顧客に関わる全ての機密情報の確保に責任を持ちます。